

## 1 ピンクリボン京都2007 に協賛しました。

昨年に引き続き、キャンペーン期間中はポスターや看板、リボンの装飾を実施しました。そして早速これらの掲示物を、学生さんや通りすがりの男性までもが熱心に読んで下さっていました。弊社から発信するピンクリボン活動が、少しでも乳がんの早期検診・早期発見につながればと心から願っています。

あなたの胸が求めています。  
乳がん検診へ。



## ピンクリボン京都2007シンポジウム

10月8日(祝・月)、京都新聞文化ホールにて「ひとごとじゃない 乳がんの話」が開催されました。第一部は、ピンクリボン京都実行委員長の宇治病院副院長 蔭山典男先生による講演、第二部は「Mayu-ココロの星-」の原作者 大原まゆさんの参加によるパネルディスカッションが行われました。

## ● 必ずマンモグラフィ検診を

蔭山先生の講演の中で、京都府におけるマンモグラフィ検診の経緯として、平成18年は 実施市町村 26 受診者 - 30,549 受診率 7% 発見乳がん数 98 がん発見率 0.32% と、ピンクリボン京都の活動目標である2010年までに京都のマンモグラフィ受診率を50%にするためには、受診者数を5倍の15万人まで増やす必要があります。京都府の対象者が60万人で、隔年の検診対象者が30万人ですから二人に一人が受診すると、ようやく乳がん死を減らすことができるそうです。早期に発見さえすれば、生存率90%ということですから、必ずマンモグラフィ検診をしてほしいと訴えられました。



オッパイの硬さもまったく同じように作られていて「しこり」の感触を疑似体験できるようになっています。

注 模型です!

実際に触ってみると「あ!これですか?」おできの芯みたいなのです。

## 「キレイ」に真剣です!

「キレイ」の創造企業として、「キレイ」の追求を全社員が真剣に考え行動する。「心に伝わるキレイ」の発進です。

- ①「キレイ」に敏感であること
- ②役に立つこと、喜んでもらえることを自ら進んで始める
- ③感動は伝えよう

合言葉は『キレイに真剣!』、全従業員みんなの品質方針です。気持ちも新たにがんばりましょう。◎

!は気付きのマークです。

## 2 ヒヤリハット NEWS

前回掲載の下記例に対し、京都地区勤務のH・Kさんからご意見をいただきました。

前号より

【例】湯呑みを洗浄中、洗い終わった湯呑みを重ねすぎて、ひっくり返り欠けてしまった。

状況：常勤者が休みのため、代理人が給湯室の清掃作業を行う。使用したままの湯のみが置いてあったので、仕様以外の仕事ではあるが、常勤者から洗浄するように指示されていたため作業をした。水切り籠等はなく、流し台の上に重ねたがバランスが崩れ、湯のみ同士があたり欠けた。

原因：重ね方のバランスが悪かった。

対策：別になし。厳重注意のみ

どんなに気をつけていてもミスは完全に無くす事は難しいものです。あらかじめミスをおこさない環境と問題点を考えておくことが大切ではないでしょうか。同じミスを二度と起こさないために、みんなで協力していきたいと思います。



ご意見

問題点として考えられること

1. 本人の場合
  - ・慣れない仕事のため要領がわからなかった
  - ・仕事が忙しいまたは終了時間が迫っていた
  - ・水切り籠が無い
  - ・洗った湯のみの置く場所が狭い
2. 同僚や先輩は
  - ・洗い方、置き方の指導または教育をしたか
  - ・自分たちも教育されていない
  - ・水切り籠が必要だと思わなかった
  - ・会社が水切り籠を買ってくれない
  - ・職場が[見ざる][言わざる][聞かざる]
3. 会社
  - ・水切り籠の要請が無いので何もしない
  - ・ハウレンソウ(報告・連絡・相談)がない
  - ・何も起こらなければホウタラカシ
  - ・経費節約で買えない

解決策

- ・水切り籠を置く
- ・教育と指導
- ・危険かなと思ったら何でも相談する

以上の内容でしたが、別の業務でも参考になると思います。常にもっと効率的で安全な方法を考えて業務に励んでください。



応募やお問合せは、必ずプロジェクト開発部の 斉藤・加藤にお願いします。

住所 616-8142 右京区太秦樋の内町11-15

TEL 075-863-0588

FAX 075-862-5130

フリーダイヤル  
0120-09-3623

斉藤・加藤にお願いします。

ヒヤリハットしたときは  
無視せず問題視



キレイアイデアいただきました

滋賀地区勤務のT・Nさんからです。

まだ1ヶ月ばかりの勤務ですが、宿直勤務の時、朝5:00に起床して6:02からちりとりとほうきを持って何ヶ所かある駐車場を清掃します。メタボリック症候群予防と職場をキレイにするためにするのですが、心の中を「キレイ」に豊かにしてくれるものと、この年になって本当に理解できるようになりました。そこで、浄美社の皆様にご提案いたします。いつもより30分でも15分でも早く起きて、奥さんや子供たち、彼氏や彼女に最高の笑顔とともに「おはよう」の声かけをしませんか。自分ひとりの「キレイ」プランを実施しようではありませんか!

私は一足先に一人だけのさわやか「キレイ」プランを実施中です。